

2021年10月29日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ
株式会社三菱 UFJ 銀行
エム・ユー・ビジネス・エンジニアリング株式会社
三菱 UFJ インフォメーションテクノロジー株式会社

Chance 地銀共同化に係る子会社の合併について

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（代表執行役社長 亀澤 宏規^{かめざわ ひろのり}、以下 MUFG）および株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一^{はんざわ じゅんいち}、以下 当行）の連結子会社であるエム・ユー・ビジネス・エンジニアリング株式会社（取締役社長 亀田 浩樹^{かめだ ひろき}、以下 MUBE）と、三菱 UFJ インフォメーションテクノロジー株式会社（取締役社長 亀田 浩樹^{かめだ ひろき}、以下 MUIT）は、本日、2022年1月1日付で MUIT を存続会社とする合併（以下 本合併）について合意いたしました。

本合併により、Chance 地銀共同化事業の運営支援を担当する MUBE の業務を、当行のシステム開発・運用を一貫して担う MUIT が継承し、「Chance 地銀共同化システム」の更なる発展に向けた対応力を強化します。加えて、MUFG のアーキテクチャ戦略、デジタル戦略の連携などによる Chance 参加行¹⁾の IT 戦略高度化と効率化、並びに更なるシステム共同化事業の発展に向けた施策推進に取り組んで参ります。

【合併対象会社の概要】

| | |
|--------|----------------------------|
| 存続会社名 | 三菱 UFJ インフォメーションテクノロジー株式会社 |
| 本社所在地 | 東京都中央区晴海 2-1-40 晴海フロント |
| 設立 | 1988年6月 |
| 資本金 | 181百万円（当行 85%、MUFG15%出資） |
| 主な業務内容 | 当行・MUFG 各社のシステム企画・開発・運用・保守 |

| | |
|--------|--|
| 消滅会社名 | エム・ユー・ビジネス・エンジニアリング株式会社 |
| 本社所在地 | 東京都中央区八丁堀 2-25-10 三信八丁堀ビル |
| 設立 | 1987年11月 |
| 資本金 | 200百万円（当行 100%出資） |
| 主な業務内容 | 「Chance 地銀共同化システム」の事業運営支援、当行システムパッケージの提供 |

¹⁾株式会社めぶきフィナンシャルグループ（株式会社常陽銀行、株式会社足利銀行）、株式会社百十四銀行、株式会社十六銀行、株式会社南都銀行、株式会社山口フィナンシャルグループ（株式会社山口銀行、株式会社もみじ銀行、株式会社北九州銀行）（2021年10月現在）

<<ご参考>>

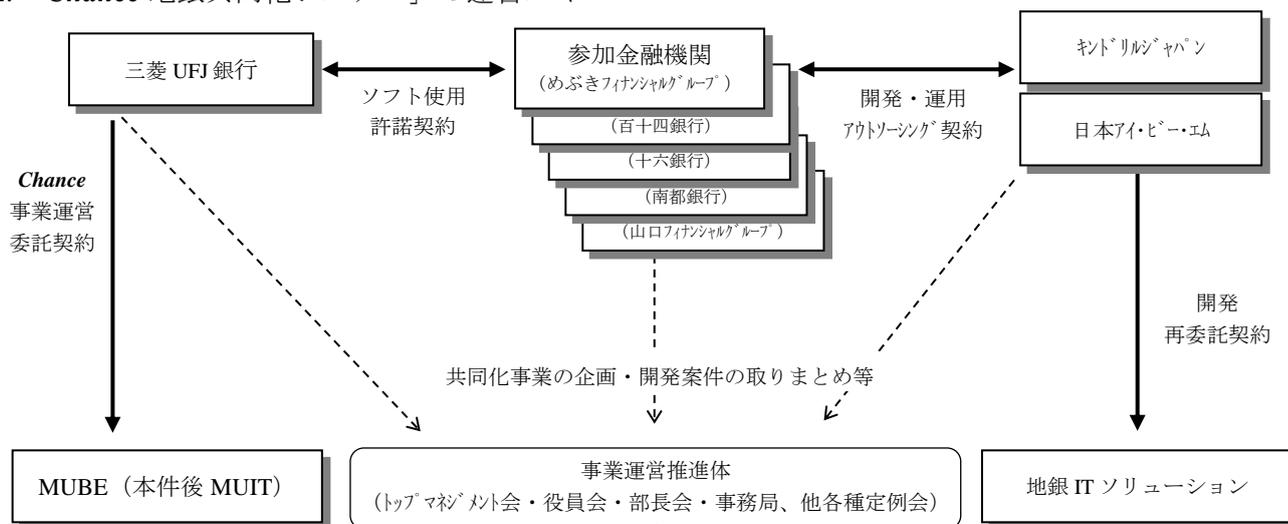
1. 「Chance 地銀共同化システム」の概要

「Chance 地銀共同化システム」は、当行の勘定系、情報系などの基幹システムを基に、参加金融機関の共通ニーズと個別ニーズを反映させて、構築したシステムです。参加金融機関は、当行が開発した高度な業務ノウハウを蓄積した業務ソフトウェアなどの継続的提供を受け、日本アイ・ビー・エム株式会社およびキンドリルジャパン合同会社が持つ先進テクノロジーを活用した共同化システムとして利用することで、将来の IT 対応力を確保しています。

参加金融機関は、日本アイ・ビー・エム株式会社およびキンドリルジャパン合同会社に開発・保守・運用を委託し、コンピュータを同社のセンターに集約すること、開発・運用要員を同社の子会社として設立した株式会社地銀 IT ソリューションに集約することなどにより、システム経費の削減を図っています。

共同化する業務は、預金・融資・外為などの勘定系に加え、情報系なども含めた範囲を対象とし、さらにはサイバー攻撃の脅威に対する CSIRT^[2]活動の連携体制にも広がっています。参加金融機関、当行および日本アイ・ビー・エム株式会社、キンドリルジャパン合同会社から構成される事業運営推進体を主体に、今後も共同化の活動範囲の拡大を検討してまいります。

2. 「Chance 地銀共同化システム」の運営スキーム



^[2]Computer Security Incident Response Team/コンピュータセキュリティインシデント対応チーム

以上